

防災訓練で自衛隊の活動をPR



熊本地震での自衛隊の活動を
説明する広報官

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 服部3陸佐）は、2月5日（日）、横浜市鶴見区の地域防災拠点である市立馬場小学校において開催された防災訓練に参加し、自衛隊の活動をPRした。

自衛隊ブースでは、昨年4月に発生した熊本地震における災害派遣活動パネルを展示し、自衛隊の活動内容について説明するとともに、合わせて、同区出身の隊員が飛行隊長を務めるブルーインパルスの写真展示を行った。

来場者からは、「最後に頼りになるのは自衛隊ですね。頑張ってください」「ブルーインパルスの飛行隊長が地元出身だと知り、とても誇りに思う」など、自衛隊の活動に対する感謝や期待の声が多く聞かれた。

横浜出張所では、「今後も地域のイベントを通じて、自衛隊の真摯な活動をPRしていきたい」としている。

父の輝いた姿に感動！

～ 努力して掴んだ幹部自衛官への道 ～

横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校 3年 宮内 光香里

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 岡山1海尉）に、今年度、防衛大学校に合格した学生から手紙を頂いたので紹介する。

私が自衛官になろうと決心したのは、高校2年生の時、厚木基地で行われたサマースクールに参加した時でした。私は、家族や身内に自衛官がいたこともあり、幼い頃から自衛隊のイベントに参加していて、自衛官への憧れは強くありました。しかし、自衛官が普段どのような仕事をし、どのような生活を送っているのか分からず、なかなか自衛官になろうと決心することができませんでした。そんな時、広報官に「サマースクールに参加してみないか」と声をかけてもらい、初めは自衛隊のご飯を食べたり、泊ったりできて楽しそうだなという軽い気持ちで参加しました。

実際に参加してみると、新たな自衛官の顔を垣間見ることができました。イベントの時はニコニコして優しい顔で接していた自衛官でしたが、仕事をしている自衛官はキリッとしていて凛々しい姿でした。また、イベントの時では知ることのできなかった、整備員や管制官、地上救難員の仕事や、常日頃どんな仕事をし、パイロットのサポートや訓練をしているのかを知ることができました。これまでに参加したイベントなどでは知ることのできなかったことが多くあり、皆で支え合って自衛隊を成り立たせているのだと感じ、胸が熱くなりました。

幹部自衛官である父ですが、家ではひたすらパンを食べては寝ており、幹部とは思えませんでした。しかし、サマースクールに参加した時、どこに行っても「宮内さんの娘だよ」と紹介してもらい、父が周りから信頼されているのが伝わり、少し嬉しく思いました。父が働いている航空部隊へ行くとき、大きなP-1やP-3Cが出迎えてくれました。父はP-3Cの搭乗員ですが、いつもこんなに大きい航空機に乗って仕事をしているのだと感動しました。P-3Cに乗ってみると、モニターや機器があり「カッコイイ」と心躍りました。父がP-3Cの任務や機器の説明をしている姿はカッコよく輝いて見え、自分も将来幹部自衛官になって沢山のの人に信頼され、自衛官の仕事の魅力をもっと多くの人に伝えていきたいと強く思い、決心ができました。

厚木基地サマースクールでは、今まで知らなかった自衛官の仕事、そして幹部自衛官の姿について知ることができ、圧倒されました。父の輝いた姿は今でも忘れずに残っています。このサマースクールのおかげで自衛官になる決心が付き、頑張る努力して掴んだ幹部自衛官への道。私だけの努力ではなく、夜遅くまで一緒に悩んで考えてくれた両親はもちろん、面接のアドバイスや相談など全力で協力してくれた広報官がいたからこそ夢まで近づけることができました。これからは、もっと多くの試験を乗り越えなければなりません。父を超える勢いで防衛大学校での生活や幹部自衛官になってからも努力し続けます。



地本本部に防大合格の謝礼に訪れた
宮内さん（写真右）